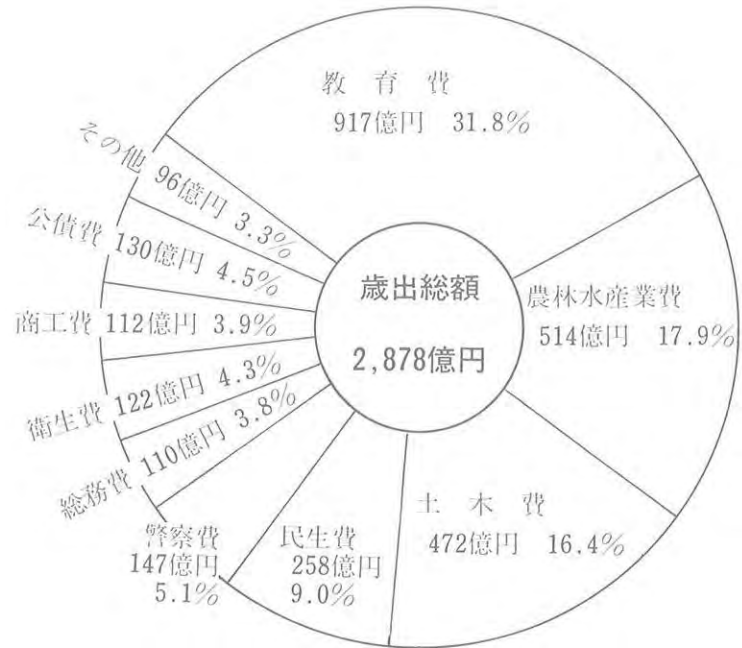
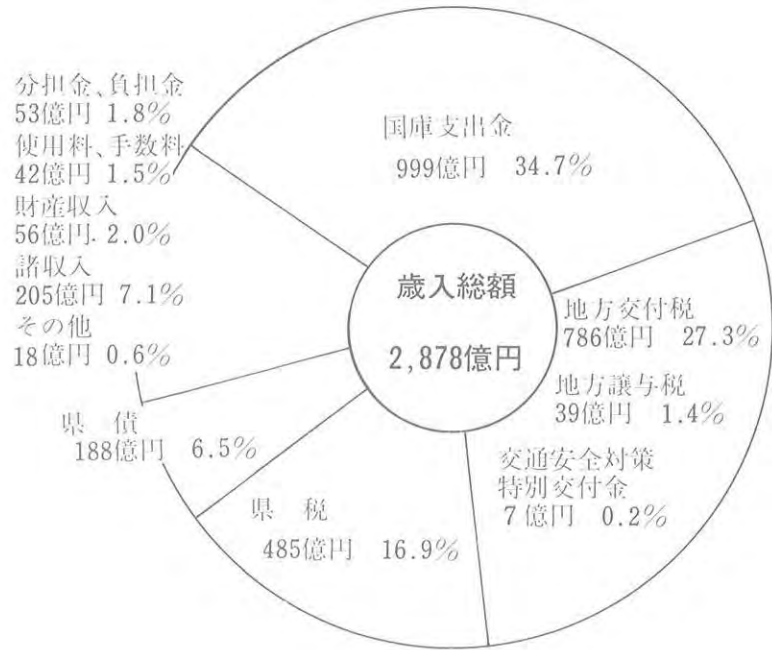


# 昭和52年度熊本県当初予算 (純計)



2.5—熊本市に春の訪れを告げる「くまもと春の植木市」は5日、本山町白川河畔で3/7日までの幕をあげた。敷地3万㎡、出品業者380、総出品数100万点と日本一の植木市となった。



2.18—第17回県農業コンクール大会の表彰式が行われた。創意工夫とたくましい行動力で、すぐれた成果をあげた11組の夫婦を含む40人、7組織が表彰された。



2.19—「県学校保健研究大会」は性教育をテーマに初めて開かれた。当初の予想400人を上回る教師ら900人が参加、学校や一般の関心の高さがうかがわれた。



3.2—3月定例県議会は会期28日間で開かれ新年度予算総額2,878億3,005万1千円など予算関係38件、条例関係44件の計82件が議決された。



1.13—県立自然公園小岱山の南中腹を抜ける幹線林道の工事が完成した。この林道は玉名市松尾から荒尾市庄山までの延長11K。満6年の歳月と3億6千万円が投入された。



1.17—ブラジル・サンパウロの県人会館落成を機に、県伯親善使節団(団長・沢田知事 150人)が出発、知事は落成式のあと、県出身者が活躍する中南米5ヶ国を公式訪問した。



1.25—県民の県政に対する要望、意見を県政に反映させる制度として県政モニター制度がありますが、これのブロック会議が県下11会場で2月10日までの日程で行われた。



2.4—県赤十字血液センターへの献血者が503人を突破した。40年2月同センター開設以来12年目の達成。50万人目は菊水町の島田主知さん40歳。48年から毎年献血していた。

県政トピックス ★ 県政トピックス ★ 県政トピックス